



Click to Call アプリケーションの展開

- 「インストーラ パッケージのダウンロード」 (P.5-1)
- 「展開オプション」 (P.5-2)
- 「インストーラ パッケージの配布」 (P.5-3)
- 「アプリケーションのインストール」 (P.5-3)
- 「Cisco Unified Communications Manager 証明書のインストール」 (P.5-4)
- 「アプリケーションのアップグレード」 (P.5-5)
- 「ユーザへの情報の提供」 (P.5-5)

インストーラ パッケージのダウンロード

次のソフトウェア ダウンロード サイトにアクセスするには、Cisco.com でアカウントを登録する必要があります。

<http://tools.cisco.com/support/downloads/go/Model.x?mdfid=282281061>

ダウンロード サイトで、Click to Call ノードを検索するか、このノードに移動します。必要なインストーラ パッケージを見つけてダウンロードします。Click to Call アプリケーションは、次の 2 つの異なるインストール形式で提供されます。

- 「Click to Call の実行可能ファイル」 (P.5-1)
- 「Click to Call の MSI ファイル」 (P.5-2)

Click to Call の実行可能ファイル

ユーザは自分のコンピュータで実行可能ファイルを実行できます。実行可能ファイルには、アプリケーションのインストールの前提となる次のようなソフトウェアが含まれています。

- Microsoft .Net Framework 3.5 Service Pack 1 (インストーラ スタブ)
- Microsoft Visual C++ 2008 Service Pack 1 Redistributable Package (x86)

前提条件ソフトウェアがコンピュータにインストールされているかどうかを Click to Call が確認し、インストールされていない場合、自動的に前提条件ソフトウェアをインストールします。インストールプロセス時間を短縮するために、Click to Call をインストールするよりも前に前提条件ソフトウェアをインストールしておくことを推奨します。すべての前提条件ソフトウェアは Microsoft 社の Web サイトから入手できます。



(注)

最小要件バージョンの .Net Framework がコンピュータにインストールされていない場合、Click to Call はアプリケーション用に提供されたインストーラ スタブを実行します。インストーラ スタブが、Microsoft 社の Web サイトから .Net Framework ソフトウェアをダウンロードします。この操作にはインターネットアクセスが必要で、かなりの時間がかかります。時間短縮とインターネットアクセスの問題回避のために、Click to Call のインストールよりも前に、Microsoft .Net Framework 3.5 Service Pack 1 をインストールしておくことを推奨します。

次の作業

- 「展開オプション」(P.5-2)

Click to Call の MSI ファイル

MSI ファイルをユーザのコンピュータにプッシュするには、ソフトウェア管理システムを使用できません。MSI ファイルには、Click to Call に必要な前提条件ソフトウェアは含まれていません。



(注)

MSI ファイルのインストールを選択する場合、Click to Call をインストールする前に前提条件ソフトウェアをインストールする必要があります。

Click to Call の MSI ファイルをインストールする前にインストールしておく必要がある前提条件ファイルは、次のとおりです。

- Microsoft .Net Framework 3.5 Service Pack 1
- Microsoft Visual C++ 2008 Service Pack 1 Redistributable Package (x86)

前提条件ソフトウェアは Microsoft 社の Web サイトから入手できます。

次の作業

- 「展開オプション」(P.5-2)

展開オプション

Click to Call インストール アプリケーションは、次のいずれかの方法で展開できます。

- 「自動大規模展開」(P.5-2)
- 「スタンドアロン インストール」(P.5-3)

自動大規模展開

Click to Call をインストールする際の大規模展開オプションは、次のとおりです。

- Active Directory のグループ ポリシーを使用する。グループ ポリシーを使用して、管理者設定を展開できます。
- Altiris Deployment Solution、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのソフトウェア管理システムを使用する。
- バッチ スクリプトで自己解凍実行可能ファイルを使用する。バッチ スクリプトを使用して、管理者設定を展開できます。

次の作業

- 「インストーラ パッケージの配布」 (P.5-3)

スタンドアロン インストール

Click to Call をそれぞれのクライアント コンピュータにインストールすることも、ユーザが Click to Call を自分のコンピュータにインストールすることもできます。管理者設定を展開します。



(注) スタンドアロン インストールには実行可能ファイルを使用することを強く推奨します。

次の作業

- 「インストーラ パッケージの配布」 (P.5-3)

インストーラ パッケージの配布

インストーラ パッケージの配布オプションを次の表に説明します。

目的の作業	実行する作業
ユーザがアクセスできる共有の場所 (Web サーバなど) に実行可能ファイルを展開します。	ユーザがインストールを完了 (インストーラを実行してインストール ウィザードの指示に従う) できるように、(管理者権限で) インストーラをプッシュします。 ユーザに、次の場所にある『 <i>User Guide for Click to Call</i> 』へのリンクを提供します。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps9829/products_user_guide_list.html
実行可能ファイルをクライアント コンピュータに直接展開します。	管理者としてログインして、クライアント コンピュータでインストール操作を直接実行します。 ユーザが自身のクライアント PC に直接アプリケーションをインストールするには、管理者権限が必要であることに注意してください。

次の作業

- 「アプリケーションのインストール」 (P.5-3)

アプリケーションのインストール

ローカル コンピュータへの Click to Call アプリケーションのインストールについては、『*User Guide for Click to Call*』を参照してください。

Click to Call アプリケーションのデフォルトのインストール パスは、**C:\Program Files\Cisco Systems\Click to Call** です。



(注) 異なるバージョンの Microsoft Office にアップグレードする場合は、Click to Call を再インストールする必要があります。

次の作業

- 「Cisco Unified Communications Manager 証明書のインストール」 (P.5-4)

関連トピック

- 「アプリケーションのアップグレード」 (P.5-5)
- 「ユーザへの情報の提供」 (P.5-5)

サーバのリポート

Click to Call をサーバにインストールすると、インストールが完了したときに、サーバのリポートを求められる場合があります。Click to Call をインストールする前に前提条件ソフトウェアをすべてインストールしている場合は、システムのリポートは、Click to Call の正常な機能には必須ではありません。

Cisco Unified Communications Manager 証明書のインストール

Click to Call を実行しているすべてのクライアント コンピュータの Trusted Root Certification Authorities フォルダに、Cisco Unified Communications Manager 証明書をインストールする必要があります。証明書は次のようにインストールできます。

- ローカル マシン レベルでインストールすると、証明書がマシンのすべてのユーザに使用可能になります。
- 現在のユーザ レベルでインストールすると、証明書がそのユーザのみに使用可能になります。

**ヒント**

証明書は、適切な展開方法を使用して Click to Call ユーザ ベースに展開できます。たとえば、Microsoft Certificate Manager Tool などを使用して、次のコマンドを実行することで証明書をインストールできます。

```
certmgr /add /c example.cer /s /r localMachine root
```

次の手順で、ローカル アカウントに証明書をインストールする方法について説明します。

手順

- ステップ 1** [スタート (Start)] > [コントロール パネル (Control Panel)] > [インターネット オプション (Internet Options)] を選択し、[コンテンツ (Content)] タブを選択します。
- ステップ 2** [証明書 (Certificates)] を選択します。
- ステップ 3** [信頼されたルート証明機関 (Trusted Root Certification Authorities)] タブを選択します。
- ステップ 4** [インポート (Import)] を選択します。
- ステップ 5** 証明書のインポート ウィザードの手順に従って証明書をインポートし、デフォルト フォルダではなく、Trusted Root Certification Authorities フォルダに証明書をインストールするようにします。



(注) [Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスの [WebDialer サービス (WebDialer Service)] フィールドの値が、Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレスではなく、証明書の Cisco Unified Communications Manager 名前と一致していることを確認してください。

次の作業

- 「ユーザへの情報の提供」 (P.5-5)

関連トピック

- 「セキュリティの警告と証明書の警告」 (P.7-5)

アプリケーションのアップグレード

手順

- ステップ 1** 次のソフトウェア ダウンロード サイトから入手可能な最新の Click to Call ソフトウェアをダウンロードします。
- <http://tools.cisco.com/support/downloads/go/Model.x?mdfid=282281061>
- ステップ 2** 更新済みのインストーラ パッケージを配布します。
- ステップ 3** アプリケーションのインストールとアップグレードを行うには、『*User Guide for Click to Call*』の手順に従うようにユーザに指示します。

関連トピック

- 「インストーラ パッケージの配布」 (P.5-3)
- 「Cisco Unified Communications Manager サーバ アドレスとユーザ名の自動的な入力」 (P.3-1)

ユーザへの情報の提供

提供する情報	説明
クライアント ハードウェアとソフトウェアの要件に関する情報	PC の要件、Cisco Unified IP Phone とデスクトップ アプリケーションの要件をユーザに伝えます。
アプリケーションのインストールとセットアップを行うための手順	ユーザに『 <i>User Guide for Click to Call</i> 』を提供します。インストール情報については、最初の項を読むようユーザに指示します。
ログイン情報	Cisco Unified Communications Manager パスワードをユーザに提供します。 Cisco Unified Communications Manager ユーザ名値を自動的に入力しない場合は、Cisco Unified Communications Manager ユーザ名をユーザに提供します。

提供する情報	説明
サーバアドレス情報	<p>Cisco Unified Communications Manager サーバアドレス値を自動的に入力しない場合は、Cisco Unified Communications Manager CCMCIP サーバアドレスと WebDialer サーバ名をユーザに提供します。</p> <p>(注) [Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスの [WebDialer サービス (WebDialer Service)] フィールドの値が、Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレスではなく、インストールされた Cisco Unified Communications Manager 証明書にある名前と一致している必要があります。</p>
アプリケーションを使用するための手順	ユーザに『 <i>User Guide for Click to Call</i> 』を提供します。アプリケーションに組み込まれているオンライン ヘルプを使用するようにユーザに指摘します。
Internet Explorer で Click to Call のメニューオプションを有効にするための手順	Click to Call の設定アプリケーションを最初に開始するまで、Click to Call のメニュー オプションは Internet Explorer で使用可能になりません。これを実行するには、[スタート (Start)] > [すべてのプログラム (All Programs)] > [Click to Call] > [Click to Call の構成 (Click to Call Configuration)] を選択します。
アプリケーションの社内サポート	アプリケーションで問題が発生した場合に、支援を得るための連絡先の名前をユーザに提供します。

関連トピック

- 「Cisco Unified Communications Manager サーバアドレスとユーザ名の自動的な入力」 (P.3-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager 証明書のインストール」 (P.5-4)